

3年連続 九州文系大学 就職率 第1位

平成19年度 読売ウィークリー2007年8月12日号 掲載
平成20年度 週刊東洋経済 2009年10月24日号 掲載
平成21年度 週刊東洋経済 2010年10月16日号 掲載

平成22年度就職率 97.9%

高い就職率に表れる「底力」

平成22年度の本学科の卒業生の就職率は、全国的に（九州は特に）4年制大学卒業者の就職難が叫ばれる中、驚異的な97.9%でした（平成23年5月1日付）。「驚異的」という言葉を使いましたが、実はそう考えてはいません。一昨年度も97.9%、平成20年度は95.6%でしたので、非常に高いレベルを継続しているのが実情です。よって、「驚異的」なことではなく、「例年通り」の「絶好調」な就職状況を示す数値であり、これが本学科の持っている底力なのです。

高い就職率を支える「カタチ」

この「就職率の高さが続く」要因はどこにあるのでしょうか。「高齢者の介護の仕事がほとんどだからでは」とお考えの方もいらっしゃると思いますが、就職先の業種別割合を参照しますと福祉施設63%、病院17%、公務員・教育・一般20%となっています。福祉施設は障害のある人や児童を対象としたものも含みますので、多くの学生が高齢者の介護以外の職にも就いていることになり、他の要因があることが考えられます。

本号では、この要因を分析し、西九州社の「カタチ」としてまとめました。是非一読ください。

【本項右下に特集の案内】

社会福祉学科報
発行日
2011年(平成23年)
6月1日
発行元
学校法人永原学園
西九州大学
健康福祉学部
社会福祉学科

特集 西九社福 の カタチ

実は安くなかった 福祉の仕事のお給料 今こそ賢い分析と検討を!

福祉の領域で働く人たちの給与や初任給は、新聞や雑誌において、平均的なサラリーマンのそれと比較され、「安い」「低い」と見なされること少なくありません。しかし、ここにはちよつとしたカタクリがあるとも言われています。福祉職の給与を安く感じさせるカタクリ「平均的なサラリーマン」というのがそれです。「平均」と書いてありながら、刊行物によっては、大手企業のみ平均であったり（日本で大手

回転の速さは
の速さ?!

企業に勤めている人は、全ての働いている人の約3割と言われています。東証一部上場企業のみ平均であったり（東証一部上場企業に勤めている人は、働いている人全ての1割程度とされています）するのです。これらのことを知らないままに、数字に踊らされている場合もあります。

下表をご覧ください。福祉施設で働く人の各段階における年収を赤字で示しています。賢明な方はすぐにお気づきになると思いますが、他職種に引けを取らない年収となっています。また、回転の速い職種であることは、よく言われることで、統計的にも間違いとは言えないのですが、回転の速い職種は福祉の仕事の他にもありますし、考えようによっては、昇進や出世も速い「というようにとらえることもあながち間違いとは言いきれないのです（25歳・30歳の年収をご確認ください）。

【2～4面に関連記事】

表1 各事業所別平均年収（[平均月給+平均諸手当]×12か月分+賞与。いわゆる税込支給総額/年）

	施設長	平均(円/年)					非正規職員
		正規職員			短大・専門学校卒初任給	高校卒初任給	
		30歳職員	25歳職員	4大卒初任給			
福祉施設全体	7,237,571	3,711,568	3,243,355	2,965,401	2,748,019	2,567,084	2,285,705
製造業	-	3,349,100	2,935,400	2,753,700	2,520,300	2,060,600	-
卸売・小売業	-	3,560,300	3,009,900	2,695,700	2,569,100	1,904,800	-
飲食・宿泊業	-	2,524,000	2,423,000	2,926,900	2,088,900	1,848,400	-
医療・福祉業	-	3,353,300	2,979,700	2,556,700	2,413,300	1,951,100	-
金融・保険業	-	4,689,900	3,536,800	2,911,800	2,745,100	2,322,500	-
複合サービス業	-	3,583,400	3,026,400	2,219,400	2,435,400	2,034,500	-

社会福祉施設の人材確保対策・育成に関する調査より（全国社会福祉協議会 平成20年7月）

「仕事」のカタチ…福祉を学んで働くということ…2～4面
「合格」のカタチ…資格を手にするということ…5～6面
「学生」のカタチ…大学で活きるということ…7～9面
「学び」のカタチ…ヨソとは違う！その中身!?!…10～12面

「仕事」のカタチを支える 大学の就職支援について

九州第1位の就職率を保ち続ける原動力となっているのは就職に懸ける学生の想いです。しかし、その想いは「希望」だけではなく、大きな「不安」に満ちています。

「就職活動って、実際にどんな事を行えばいいの?」から「採用条件や労働条件は、どこがポイントになるのか?」といったものまで、就職活動の各段階における疑問や不満は、次から次へと浮かび、尽きることはないようです。

そんな学生たちの「就活」を支えるために、本学が行っている様々な就職支援について、「早期就職活動支援」の2つの取り組みを中心に紹介します。

3年生向けの「学内企業説明会」
平成23年3月29日、地元優良企業23社、ヤングハローワーク、ジョブカフェSAGA A参加の下、「学内企業説明会」が行われ、本学科からは

3年生の約85%が参加しました(写真①)。「大学内で就職説明会を行わせてほしい」という施設・企業の依頼を受けて、例年は6月から7月にかけて4年生を対象に説明会を行っています

した。平成22年度は、学生からの「企業・施設について知りたい」、「時間をかけて希望の職種・職場の話聞きたい」との要望を受けて、早期就職活動支援の一環として行いました。

ヤングハローワークによる職業紹介・就職相談、ジョブカフェSAGAによる職業適性診断や面接のコツ講座等を受けながら、各学生が興味のある分野・企業のブースに並びました。就職試験を受ける際に必要な知識・資格、試験内容について、また、就職後の給与・福利厚生・仕事内容等について熱心に耳を傾けていました(写真②)。

4月以降、学外で数多くの企業説明会があります。「弾みをつけて、安心して参加す

ることができる」と好評でした。

4年生向けの「就職支援講座」
平成23年4月27日に、夏場に向けての就職活動」講座を、株式会社ディスコのキャリア支援課の玉利俊朗氏を迎えて行いました(写真③)。

2年次から行ってきた就職支援講座の総仕上げとなるものです。夏場に向けての就職活動の展望と対策(企業研究の徹底、自己PRの徹底、履歴書作成の7つのコツ、面接対策、エントリーシート記載のコツとツボ、自分に合った仕事探し、これから間に合う選考試験他)について、学生は一つずつ確認していました。



写真①: 当日は全員リクルートスーツで参加。スーツの着こなしも、今後の課題です(笑)。



写真②: ドキドキしながら、ブースに並び、説明を聞きました。



写真③: 計画性と持久力、各段階でのポイントを押さえることの重要性を学びました。

その他の就職支援
本学の就職支援の特長は、卒業生や外部就職支援組織との連携にあります(左図参照)。
一人ひとり異なる学生の希望に応えられるよう、きめ細やかな支援体制を整えています。
(准教授 江口 賀子)

就職支援体制



学生全員に対して

就職支援システムの活用
ガイダンスおよび指導
就職相談室の充実

個人のニーズに合わせて

2者面談
就職活動支援講座・入門講座
履歴書・面接等指導
企業・施設等の学内説明会
各種資格取得のための対策支援講座
(公務員講座・パソコン講座等) ほか

ほか

外部就職支援組織

ジョブカフェSAGA・ハローワーク

学内での
職業適性診断の実施
応募書類作成の助言 など

企業・施設等への求人依頼
企業・施設と学生の連絡調整 など

企業・施設

卒業生のネットワーク

求人者の情報提供、アドバイス等

特集 西九社福のカタチ

②「合格」のカタチ

～資格を手にするということ～

専門職の「カタチ」である国家資格。多くの学生がその取得を希望しているが、全ての学生がそれを手にするわけではない。学生の希望に応える、西九社福の受験支援、試行錯誤の末たどり着く学生自身の学習スタイル。国家資格取得(合格)までの道のりに迫る!!

手厚い 受験支援 大学の取組み

平成22年度(第23回)の本学科の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格者は、社会福祉士28名、精神保健福祉士3名でした。既卒者を含む学校別合格者数は61名。九州内の福祉系大学の中では第3位でした。

平成22年度に行った、在学生と卒業生に対する国家試験受験の支援体制について紹介します(表1を参照)。

【在学生向けの受験支援】 1年次から4年次まで... 国家試験科目である教科は、1年次配当のものから、国家試験を常に意識した内容を各教員が教授しています。 2年次後期から3年次前期... 受験予定者全員を対象に模試を行い、解説しています。 4年次通年... 科目別や弱点克服などの対策講座を行っています。

【卒業生向けの受験支援】 大学で行っている受験対策の資料を提供しています。受験手続きの情報から新カリキュラムの勉強方法の相談にいたるまで、できる限りのサポートを提供しています。

(准教授 江口 賀子)

表1. 平成22年度 受験対策の実績とねらい【学内対策】

(: 主目的 / : 副目的)

Table with 10 columns: 名, 実施時期, タイプ, 平成22年度実績, ねらい, etc. Rows include exam types like '1福社士への道I', '2福祉士への道II', '3弱点克服講座', etc.

学生たちの 受験勉強のスタイル ～さまざまな学習方法～

例年、受験対策の取り組みとして、様々な対策講座や模試を学科として提供すると同時に、学生も色々な方法で受験勉強を行っています。例えば、①自宅等での個人勉強、②図書館等の学内施設や教員の研究室を借りたグループ学習に分類でき、ど

のスタイルが向いているかは、学生自身で選択することになります。特に、グループ学習では、自然に勉強仲間が集まり、講義以外の時間は早朝から夜間まで勉強に取り組み、グループ内での自己学習、模試問題、仲間と解答・解説、不明な点は科目の担当教員へ質問することを繰り返して、学生らは理解を深めています。

三、四ヶ月間は自宅や大学にカンツメの状態です。ただ、平成二十二年度の学生らの取り組みは、ゆつくりとスタートしていたように感じました。学生たちの受験勉強で重要と感じることは、早期に取り組み、早くから受験対策に取り組んでいくことだと思えます。しかし、それ以上になんとか勉強するのではなく、自分は合格するという強い意志を示して、個々人で、また勉強仲間と取り組んでいくことも重要だと感じます。

【本項&6面に合格者の声】 (講師 岡部 由紀夫)

「切羽詰まった勉強の日々に活きた、ゴールとスケジュールの可視化！」

木原 憂也 さん

社会福祉士 取得 龍谷高校(佐賀) 出身



バイトや卒論などで忙しく、本格的な勉強は11月から取りかかりました。11月の段階では先生に『社会保険ってなんですか?』と基本ともいえないほど初歩的な質問をする程度の学力しかありませんでした。

その後は自分の勉強スタイルを確立させ、先生の研究室で朝10時から夜の1時までで大学で懸命に勉強し、2時間だけ休憩時間を決めて、1日のスケジュールと目標獲得点数を紙に書いて、いつでも見えるところに貼っていました。自分が目標を見失わないようにと思ったからです。

皆さんにアドバイスするとすれば、お金をかけてでも模試や講義は受けるべきだということです。僕は放課後に週2回開かれていた東京アカデミーの対策講座と、2週間に1回の社会福祉士会の勉強会、大学での国家試験対策を受けていました。自分の学力を客観的に見ることも本当に大切だと思います。そして、早くから受験対策に取り組み、勉強スタイルを確立させ、目標をたてることだと思います。結果として、社会福祉士に合格し、相談員として就職しました。皆さんも目標を持って頑張ってください。

【担当教員からひとこと】

目標とスケジュールを立てる工夫は効果的でした。

木原さんの知識量の増加は目を見はるものがありました。

(准教授 橋本 みきえ)



「一人では
やれなかったこと」

武富静香 さん

社会福祉士 取得
【ありあけ新世高校 出身】

受験するにあたって、何から手をつけて良いのか、毎日何時間勉強をすればいいのか、全くわかりませんでした。そこで受験勉強の経験のある友達や知人などに相談し、勉強方法についての情報を集めました。試験2カ月前には、勉強している事が本当に身に付いているのか解らずとも焦りましたが、同じように受験について悩んでいた友達と勉強する場所を確保し、毎日一緒に勉強を始めました。



「十分な睡眠と
日頃の積み重ね」

江頭 毅 さん

社会福祉士
精神保健福祉士 取得
【小城高校 出身】

「眠たいのを我慢して勉強を頑張っても頭には残りにくい」と私は考えています。また、日頃の講義をまじめに受講することが重要だと私は思います。さらに、集中力が切れかけたと感じたら区切りをつけて休憩に入ることを行っていました。



「怠ると危うし」

谷口朗子 さん

社会福祉士
精神保健福祉士 取得
【白石高校 出身】

実際に私が本格的に受験勉強を始めたのは12月に入ってからでした。初めはこれくらいいいだろうという気持ちで勉強していたのですが、合格祈願に行った際にひいたおみくじにはこう書かれていました。「怠ると危うし」...私はこのままではいけないと思い、この日から追い込みをかけたのを覚えています。くじけそうになったらこの言葉を思いだし、自分を奮い立たせていました。



「努力し続ける
ことの大切さ」

廣瀬真澄 さん

社会福祉士 取得
【川棚高校 出身】

試験勉強を通して感じた事は、「早くから自分にあった勉強方法を確立する」「自分が集中して勉強できる環境を見つける」「勉強していると覚えることの多さに挫けることもあります、諦めず、最後まで頑張り続ける」事です。私の場合、試験勉強を始めたのは4年生の夏休みからで、一人で勉強する方が集中できたので、朝から学校に来て夜まで図書館や空き教室を使って勉強しました。



熱意・知性・学友



「自分について
考える」

中川史高 さん

社会福祉士 取得
【朝羽高校 出身】

私が、国家試験までにやったことは、「自分について考える」ことです。私は、「得意・不得意な教科は何か?」「どこで勉強すると集中できるのか?」「どんな時に気持ちが落ちてしまうか?」など様々な事を考えました。もちろん、それぞれの対処法についても考えました。私は、勉強を始めるのが遅かったのですが、自分について考えることで、自分を追い込むことができたし、励ますこともできたと思います。



「友達と共に...」

安永佳世 さん

社会福祉士 取得
【佐賀商業高校 出身】

12月から社会福祉士を受験する1月までの1カ月間は、人生の中で一番勉強したと思います。私は、だいたい3、4人の友達と一緒に勉強しました。個人学習と休憩時間とのメリハリをつけ、友達と支え合いながら辛い勉強生活を乗り切りました。



「1点の大切さ」

坂井由香梨 さん

精神保健福祉士 取得
【小城高校 出身】

たくさん問題を解くことも大切だとは思いますが、間違えた問題や解けなかった問題を自分にあった方法で見直ししながら理解する事がとても大切です。自分がきちんと理解出来て、知識に結びつく方法を早く見つける事が“1点”に繋がり、その積み重ねが合格への道のりに近づくのだと思います。



「継続は力なり」

龍野親一 さん

社会福祉士 取得
【多久高校 出身】

私は最初、学校で友人と勉強していましたがあまり集中できず、図書館で一人勉強を始めると点数が一気に伸びました。一人で勉強するのも友人とするのもそれぞれ長所、短所があると思いますが環境を選ぶことも大切だと感じました。結果が出なくても継続して努力すれば必ず報われます。初心を忘れず、頑張ってください。



「心強い思い出」

生山由加里 さん

社会福祉士 取得
【小城高校 出身】

11月の終わりに、このペースのままでは間に合わないという状態になってしまい、慌てて勉強方法を改めました。しかし、12月の学内模試では50%という結果で焦りを感じました。ここで諦めの気持ちが出なかったのは、友達の支えが大きかったと思います。家ではだらけてしまう私は、学校で友達と勉強することで、教え教われ、励まし合い、頑張っていました。

特集 西九社福のカタチ

③「学生」のカタチ

～大学で生きるということ～

高校を卒業し大学に通っているが、
未だに自分を「生徒」と呼ぶ者が多い中、
しっかりとした「学生」の自覚を持つ、西九大生。
その有志が、「学生」目線で、高校生の方々に、
「西九社福の歩き方」を発信します!

ザ・対談!
“チームSSSF249”
(スーパースタッフ西九)
VS 学科長

アンケート調査を やってみました!

学科長：きょうは、みんな取材して、作ってくれた新聞記事のことについて聞かせてくださいね。自分たちで、手作りのページに取り組みうと思っただ理由は?

寺崎：現在、4年生ですが、4年生の私たちが一番、社会福祉学科のことを知っているし、普段、みんなが社会福祉学科のことをどう思っているのか関心があったから、仲良しグループの5人でやってみようと思いました。

庄司：何でも書いてもらっていいし、私たちに任せるといふことだったので、何を書くかについて、休み時間や放課後に集まって何度も話しまし



た。そして、ぜひ、社会福祉学科の学生にアンケート調査をやって、生の声を聞いてみようということになりました。
学科長：アンケートは何人くらいにやったのかな。
秋吉：社会福祉学科の学生みんなに答えてもらいたかったのですが、1年生は入学したばかりなので、2年生から4年生までのすべての人に調査票を配りました。そして、ほとんどの人が快く協力的に回答してくれました。
想像していたことと同じだったこと:
学科長：アンケートの結果はどうだった? みんなが想像したことと同じだったかな。
秀島：想像したことと同じこともあったし、意外だなと思うこともありました。同じだと思ったことは、この大学の社会福祉学科を選んで良かったと思うことについての結果でした。まずは、社会福祉の専門性というか、「社会福祉を学ぶには西九大」という意見が多かったです。コースが6つあって、選べることも魅力的だという意見もたくさんありました。
平：それと、人間関係がとっても良いということです。友

達同士の人間関係と先生たちとの人間関係が、距離が近くて、家族的だということですが、社会福祉学科ならではの、思いやりや人間関係が魅力的だという答えは多かったですね。私は鹿児島出身で、入学したころは不安な気持ちがあったんですが、みんな優しく、すぐ慣れましたし、たくさん友達もできました。
庄司：就職率が良いという意見もたくさんありました。私も去年、短大から編入してきたんですが、西九州大学は抜群に就職に強いということは有名でした。不景気が続いているのに、ずっと100%近い就職ができていくことはすごいと思います。
秋吉：学内のおすすめスポーツであげられたところも私たちが想像した通りでしたね。学生ホールと食堂は、どちらもくつろげる場所なんです。こういう場所で親しい人間関係ができるんじゃないですかね。
意外だったこと:
学科長：アンケートの結果で、想像していたことと違っていたことはどういうことかな。
秀島：「西九州大学に入学して、校内で彼氏・彼女ができましたか?」という質問をしましたんですが、「Yes」と答えた人が3割以上いたのは意外でしたね。同級生同士や先輩や後輩同士で付き合っている人がそんなにいるとは思っていませんでした。今は付き合っていないけれど、以前は付き



合っていたという人も含めるともっと増えますね。
寺崎：「あの先生のステキなところを教えてください」という質問もしてみましたが、いろんな先生のいろんなステキなところが書いてありました。みんな先生たちをよく観察しているんだなと思いました。
印象に残ったこと・嬉しかったこと:
学科長：今回の新聞記事を作ってみて印象に残ったことは何かな。
寺崎：一番嬉しかったのは、アンケートにみんなが協力してくれたということ。たくさんの方がまじめに答えてくれました。
平：みんなからもらった回答の内容も、この社会福祉学科に来て良かったというものが多かったし、この大学に愛着を感じているんだということが、回答を読んでみてよくわかりました。やってよかったと思います。

間近に迫った 卒業にむけて

学科長：学生生活も残り1年もないけれど、将来のことはどう思っているのかな。
庄司：私たち5人も、まずは社会福祉士の国家試験に合格したいです。学内で受験対策講座を受けて、がんばっています。それと、福祉関係の仕事に就きたいという希望は以前から持っていましたので就職先を絞り込んでいかなければと思います。いよいよです。

学科長：みなさんたちのお陰で、たいへんいい記事ができたと思っっています。アンケートなどを通して、「学生」目線で社会福祉学科に対して評価してもらい、貴重な意見をいただきました。みなさんたちの思いを大切にしていきたいと思っっています。心から感謝します。ありがとうございます。

【8・9面に学生ページ】

対談者

4年(チーム SSSF249)

秋吉 佑香さん

北陵高校(佐賀) 出身

寺崎 巴瑠佳さん

北陵高校(佐賀) 出身

平 めぐみさん

鹿児島立奄美高校 出身

庄司 知恵さん

八女学院高校(福岡) 出身

秀島 由紀子さん

佐賀県立鹿島高校 出身

社会福祉学科長

倉田 康路 (教授)

ひのくま祭

H22年11月13日から2日間、西九州大学神埼キャンパスで第41回ひのくま祭が開催されました。第41回のテーマは「Re:～最高の思い出を～」に決まり、ゲストライブに千綿偉功さんやSKUNK SHOT BOOSTERを迎えて大変な盛り上げをみせました。

今年度のひのくま祭は10月28日～30日に開催し、神園キャンパスとコラボレーションをする予定です。年々パワーアップするひのくま祭に皆さんぜひいらしてください。(学祭係)



(女装メイドさん)



(日の隈祭、ステージの様子)

『あの』先生のステキなところを教えてください！

学生達が答えてくれた「ステキな理由」を参考に、2名の先生に高校生の方々に向け、コメントを頂きました。

★熱心な講義と誰よりも学生思いの所がカッコイイ!!
(4年 男子)

熱意あふれる講義が学生に好評なのは滝口真先生です。

【自分自身を愛して!!】
西九州大学は健康と福祉の専門家を養成する大学です。福祉は自らの心のメガネが曇っていると、支援する他者を正しく見ることが難しくなります。まずは自分自身を受け入れて愛して下さい。愛された者は周囲を愛することができます。その愛によって、心のメガネを綺麗にすることができます。あなたを待っている人へのその愛のおすそ分けが福祉の心だと思います。

★ダンディー、清潔感
(2年 女子)

★ダンディーな所!クールでカッコイイ!! (4年 女子)

続いては、臨床心理学の先生、西村先生です。

【関わること・つながること】
社会福祉の学問は、人と関わることを基本に人間の健康について幅広い分野から学んでいきます。人と関わることで、そこにコミュニケーションが生まれ人の輪が広がっていきます。すなわち、社会の中で人とつながりを体験し学んでいくことが福祉の大きな柱かもしれませぬ。西九州大学で関わること、つながることを一緒に考えませんか。



本物はその目で
にじみまよう!!

今回、この記事を作成するにあたってご協力頂いた方々に、この場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。(チームSSF249 一同)



意外と多い? 西九恋愛模様

アンケートでちゃっかり聞いちゃいました!!
「西九州大学に入学して、校内で彼氏・彼女ができましたか?」



結果はこの通り。
「Yes」と答えた人は、学年が上になればなるほど増えていました。

サークル紹介

【ボランティア系サークル・有明会】
有明会は、自閉症の方や知的障がいのある方と一緒に、ハイキングやクリスマス会など、行事余暇活動を年6回行っています。佐賀大学生と交流することもでき、友人の輪が広がります。活動も年6回と少ないので、他のサークルとも掛け持ちできますし、バイト等も行えます。

ここでは紹介しきれませんでした。文化系サークルも勿論あります。入学された際には、ぜひ興味を持って各サークルを訪ねてみてくださいね!

★学内おすすめスポットランキング★

第1位:学生ホール
学生ホールは学生が思い思いにくつろげる憩いの場所。学生ホールに行くとき、誰かしらと会えるといった声が多かったです。売店があり、休憩時には、たくさんの学生が集まります。

第2位:食堂
食堂は先生、学生が共に利用する食事処。先生方や他学科・学年の学生との交流の場にもなっており、食事するだけでなく、和気あいあいとした雰囲気流れる楽しい空間です。なんでも、食堂裏では可愛いモグラやタヌキが目撃できるとか...



(学生ホール-正面写真)

少数意見:学内坂道
春になると見事な桜が咲き、とてもきれいです。



(スクールバス停前の坂道)

【スポーツ系サークル:アルティメット】
アルティメットは、フリスビーのディスクを使い、7人でディスクをまわしながら落とさずに相手の陣地でキャッチし、その獲得数が多いチームが勝利というニュースポーツです。大学から始める人がほとんどなのと、風の影響でディスクがどんな動きをするか分からないところが魅力です。福岡や熊本などで大会が行われており、男女で分かれて行う試合や混合の場合もあり、どんな人でも楽しめるスポーツです。サークルの皆も男女、学年関係なく、楽しく、そして一生懸命に練習を行っています。



かじまい チームSSF249/作成

ガッカホー

学生の、学生による、高校生の為の学科報

西九州大学のことを知ってもらうために、西九州大学社会福祉学科の2~4年生にアンケートを実施しました。その結果を基に、この記事を作成しました。

西九州大学の社会福祉学科を選んで良かったと思うことを教えてください

学習面
★専門科目を詳しく学ぶことができる。
(3年 男子)
と学生の声にあるように、福祉のプロフェッショナルを育てる大学です。

人間関係
★先生との距離が近いこと。就職のことなど個別に話ができる。
(2年 女子)
先生と学生の距離が近く、しっかりと向き合って話ができます。

就職面
★就職の際、有利な資格を取得できるチャンスが多いこと。
(4年 男子)
2010年度の就職率はなんと97%!!

現在、健康福祉学部社会福祉学科は社会福祉・精神保健福祉・臨床心理・介護福祉・特別支援教育・キャリア開発の6コースに分かれています。あなたの目標に合ったコースを探してみてください!





卒業後も学びはつづく...?!

福祉・医療現場を中心に活躍する先輩達は、卒業後の力強い味方！九州のいたるところで頑張っている先輩達も、仕事の相談や研修会などでしばしば大学に...「学び」をつづけています。

特集 西九社福のカタチ

④「学び」のカタチ

～ヨソとは違う！その中身!?～

大学では自分の時間割を自分で作ります。西九社福では、学生がそれぞれに持つ目標に向かってはばたいていけるよう、応援しています。そのためにもまずは自分を知り、自分を創っていくことにチャレンジしましょう！あなたの目標はあなたのものです！

忙しい4年生

とにかく4年生は大忙し！卒論、就職活動、専門実習、国家試験対策・・・時間はどれだけあっても足りません。

卒業論文

自分の興味・関心のある社会問題等にテーマについて調査・研究を進め、ゼミ教員の指導を受けながら書きすすめます。大学で学んだ証となる大切なものです。

「社会福祉」実習

社会福祉施設・機関で約1か月間の実習を行います。実際の福祉現場で相談援助や介護などを体験し、将来の職業イメージを高め、専門職としての適性を確認します。

専門の知識を深めるための学び

将来の目標に向かって一步を踏み出す

- 1年生から描いてきたキャリアデザインを完成させる
- 就職・進学に必要な知識を高める
- 希望する職業に求められる資格取得に挑戦する

西九社福の就活事情

福祉業界の求人は、一般企業と比べて遅くなる傾向にあるため、3年生の就活イベントは、進路の選択肢を増やすチャンスです！

将来の目標を定める

- 就業力を高め、就職希望分野や職種を絞り込む
- 大学と企業や地域社会との共同プログラムに参加し自分で考え行動する力を高める

インターンシップ

将来の職業選択に生かすための職業体験。体験先は、一般企業に加え、保育園や農業民宿など、幅広く設定されています。

社会人としての力をつける

- 専門書の読み方やレポートの書き方を身につける
- 自分の考えを他者に示す方法（プレゼンテーション法）を学ぶ
- インターンシップの機会を活用して、専門分野以外の職業や組織について理解する

ポートフォリオ・システム

個人の経験や活動の記録をファイルしていくシステム。このシステムに記録した内容を教員と一緒に振り返ることで、自分を知り、将来の目標を考える準備をします。

大学生としての基礎（自分）をつくる

- 語学、情報処理などを学ぶ
- 大学での学習に必要なスタディ・スキルや職業観を学ぶ
- ポートフォリオ・システムを使い、将来の目標を決める準備をする

1年

「社会福祉」とは何かを知る

- 人とかかわりの基礎を学ぶ
- 「こころ」と「からだ」と「福祉」のしくみを知る
- 自分が学びを深める専門領域（コース）を選ぶ

教養と就業力を身につけるための学び



大学生生活の雰囲気 味わってみませんか!

高大連携事業について

「大学生生活はどんな感じですか?」「大学での勉強は難しいですか?」高校生から一番多い質問です。そんな疑問や不安に答える行事である「高大連携事業」を本学科は行っています。

高校生にとっては、大学行事(大学祭等)に参加して、大学生生活の雰囲気を体験してもらおうと、大学での体験授業を受けてもらい、大学の専門的な学習について体験し

てもらおうと、学生や教員からの話を聴き、勉強や進路に対する意識を高めてもらうこと等を目的としています。

平成22年は「第2回 ふくフェス in 西九」を実施しました。7校より、生徒87名、教員8名の参加がありました。参加者は5~10名のグループに分かれて大学祭を自由散策し、大学生生活の雰囲気を体験しました。さらに、倉田康路教授の「みんなで支え

西九医療福祉研修会を開催!

医療の現場で働くソーシャルワーカーは近年増加している一方で、少数職種のために勤務する場での研修がなかなか受けられないのが現状です。

そこで社会福祉学科では社会福祉士、精神保健福祉士として病院に勤務している卒業生を対象とした研修会を年2回開催しています。平成23年2月に開催した研修会では、卒業生の一人で嬉野医療センターのソーシャルワーカーとして活躍されている鷲頭さん

にご講演いただきました。この講演を企画した岩永真一さん(平成18年卒・山口病院)のメッセージを紹介いたします。「講演では、鷲頭さんが嬉野医療センターに初代のMSWとして就職され周りのスタッフに仕事を理解してもらえず、思うように業務が出来なかつた時の事、そしてその後、どのように理解してもらい現在にいたつたのかというお話をされました。現在ではMSWの職場環境改善の活動

る高齢化社会」と題した講義を受けた後、学生等との意見交換をしました(写真)。

平成23年は10月29日に「第3回 ふくフェス in 西九」等を予定しています。



学生との意見交換が好評でした。

(准教授 江口 賀子)

もしているから、『安心してMSWになつていい』という心強い言葉を在校生、卒業生に伝えられました。この研修会では私がそうだったように、先輩に相談すれば親身になってもらえます。卒業後にも、同窓生と話ができることを楽しみにしています。」



(准教授 橋本・山田美)

体験を分かちあう

社会福祉実習報告会

平成23年1月14日(金)、社会福祉実習教育における新たな取り組みとして、平成22年度に社会福祉援助技術現場実習を体験した学生たちの実習成果を共有する「社会福祉実習報告会」を行いました。当日は学生だけでなく、お世話になった現場の実習指導者をお招きし、11施設12名の方々にご出席いただきました。



高年齢者、障害者、児童、行政・機関の4つの分野からそれぞれ代表で6名の学生が、自分たちの実習成果をスライドにまとめ、報告しました。報告者の学生たちは緊張した面持ちで、実習で学んだことを、実習中の活動や印象に

残ったこと、反省点なども加えながらそれぞれの言葉で伝えていました。

参加した学生たちは、自分の実習体験を思い出しながら報告を聞き、最後にいただいた実習指導者からのコメントに真剣に耳を傾けていました。(助教 長千春)



協働した実習指導の体制づくり

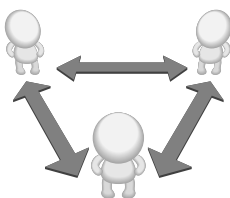
平成22年度 実習指導者講習会開催

社会福祉実習は、実習大学生(生)と実習担当教員、実習指導者(施設職員)の三者の関係の中で行われます。実習生を指導する担当教員はもちろん、実習施設の職員の方も、実習指導のための講習を受ける必要があります。

当日は、雨の降る悪天候でありましたが、佐賀県をはじめ、九州各県の福祉施設より145名の実習指導者が集まり、真剣に受講されていました。

この実習指導者のための講習会が、日本社会福祉士会主催(佐賀県社会福祉士会担当)で、平成22年10月2・3日の二日間、西九州大学を会場として開催されました。

講習会では、実習指導のあり方や実習のプログラミングの講義が行われました。また、実習スーパービジョン論は、演習形式で行われ、実習指導者役と実習生役となり、実習の事前打ち合わせの場面を想定したロールプレイを実施。



実習生の緊張のほぐし方や実習を行うにあたって、実習契約の結び方等に取り組みました。今までの実習指導の方法を振り返るとともに、今後どのように実習指導を行っていくべきなのか受講生同士で確認、検討していました。(講師 岡部 由紀夫)

入試・広報 トピックス

本学独自の奨学金制度

本学では、平成22年度の入学者より新しい奨学金制度

(左図参照)を導入し、平成23年度入学者についても、前年度同様、多くの方にご利用いただくこととなりました。大学進学を希望する方の学習意欲を少しでもサポートするためにこれらの奨学金制度を用意し、利用者の方からも

たいへん喜ばれておりますが、なにごと新しい制度でもあることから、まだまだ十分に認知されていないようです。これらの奨学金制度のことを詳しくお知らせになりたい方は、本学の入試広報課までお問い合わせください。

教育情報の公表

平成23年4月1日より、西九州大学および西九州大学短期大学の教育情報等について、本学のホームページ上に公表しております。

これは、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行に伴い、本学の教育研究活動等について広く社会の皆さまにご理解いただくとともに、本学の教育の質の向上を図ることを目的とした取り組みです。

公表している情報は、「学校法人の概要」、「事業(教育研究・管理運営・特長ある取り組み)の概要」、「財務の概要」といった内容で、各教員の教育研究活動業績なども記載しております。

これらの情報をもとに、皆さまに本学の教育研究活動について理解を深めていただき、進路検討の参考など何らかのお役に立つことができればと思っております。興味のある

方は是非ご覧ください。

資料の請求

西九州大学および西九州大学短期大学の大学案内・学生募集要項につきましては、6月上旬より最新のものを送料共無料で配布します。

窓口配布や電話での請求もできますが、本学のホームページや便利な携帯サイトからの請求も可能です。ご希望の方は、左記のいずれかの方法にてご請求ください。

資料請求の方法

- ①窓口：大学または短大の窓口
(月～金、祝祭日除く、9:00～17:30)
- ②電話：0952-37-9207(大学)
0952-37-9616(短大)
- ③ホームページ
<http://www.nisiky-u.ac.jp>
- ④携帯サイト
QRコードはこちら



(入試広報課 李尾 隆弘)

オープンキャンパスへ行こう 学生ボランティアの現場より

「西九社福」の学生の魅力は、毎年開催されるオープンキャンパスで発揮されると言ってもよいでしょう。昨年度も7月から8月にかけて開催され、地元佐賀をはじめ遠方は長崎からも多くの高校生が参加してくださいましたが、この一大イベントの主力を担っているのが、事前準備から当日の運営までの工程をサポートしている学生たち(写真)。彼らの多くは高校時代に「社福オープンキャンパス」を体験しています。だからこそ、参加者」の立場から高校生のニーズを敏感に察知できるのか、時には教員がタジタジになってしまうほどの鋭い意見を発信してくれます。彼らの熱意は高校生に伝わったようで、昨年度も参加者からは「在学生とのフリートークが楽しかった」「在学生メッセージがよかった」という声が多数寄せられました。在学生メッセージ」とは、在学生がスライドを用いて大学生活の様子を参加者に紹介する発

表コーナーのことです。発表者たちは当日までに何度もリハーサルを行うなかで、「高学生の関心は?」「バイトやサークルのことも知ってもらおう」などと互いに意見を交わし、不安と期待が入り交じった気持ちで本番を迎えます。

(准教授 渡邊 真理子)



学生支援 トピックス

第41回ひのくま祭

「Re...最高の思い出」

西九州大学は開校40周年の節目をおえて、神埼キャンパスに健康福祉学部とリハビリテーション学部そして大学院健康福祉研究科、神園キャンパスに子ども学部と短期大学の2キャンパス4学部、そして1大学院修士課程を併せ持つ大学として新しいスタートを切りました。

そのような新たな歴史の始まりの中で、「第41回ひのくま祭」が「Re...最高の思い出を」をメインテーマとして、11月13日(土)～14日(日)に盛大に開催されました。

例年以上の盛り沢山のプログラムが準備され、学生ならではの演出や模擬店が企画されました。西九州大学同窓会による熱気球係留搭乗体験(写真①)、歌手千綿偉功(佐賀市出身)のライブ、ピンゴ大会(写真②)、三光幼稚園・保育園児の絵画展示、第19回にこにこふれ愛デイが開催され、地域の高齢者と大学生の交流や、大学における地域の人や

高校生の福祉ふれあい体験がなされ、とても好評でした。
(教授 古賀 靖之)



写真①



写真②

震災募金活動

西九州大学・西九州大学短大部の平成22年度卒業式と23年度入学式で、学生でつくる学友会の会員15人が募金活動をしました。被災地に「何か力になりたい」と考えて行動しましたが、想像以上に多くの方々から協力してもらい、復興への願



いが伝わってきました。震災を新聞やテレビで見ても、普段の生活と隣り合わせにある自然の恐ろしさを実感しました。被災地の方々に必要な支援が届いているのだろうか。そして心身共に疲労困憊し、余震におびえる被災者を思うと胸が痛みます。遠く離れた佐賀でできることは限られますが、一人一人の善意が集まれば力になります。

全員がこの復興支援のために芽生えた絆を絶やさないよう誓いを新たにしています。

(学友会会長 社会福祉学科3年

古賀 望末)

軟式野球部

2年連続全国大会出場

軟式野球部は、平成22年度「九州学生軟式野球部連盟春季リーグ」において優勝し、平成22年8月21日から、広島県東広島運動公園野球場で開催された「第33回全日本学生軟式野球選手権大会」へ九州地区代表として、2年連続8回目)の出場を果たしました。野球部員は32名で3名の女子部員と6名の女子マネー

ジャーも登録されています。全国大会の結果は文教大学と対戦し惜しくも敗退しましたが、全員のチームワークで日々の練習成果を十分に発揮すべく奮戦しました。そして九州に西九州大学ありとの存在感を全国に認めさせることができました。

(教授 古賀 靖之)



ACC短期留学に行つて

3年 青戸 孔明

私が今回の短期留学に参加したのは、大学の学生支援部の方の「アメリカに行つてみるね」の一言がきっかけでした。海外旅行が初めての私にとつては、



深く、時間をかけて回つてみたいと思いました。ニューヨークは、私が想像していたより、とても刺激のある街でした。グレンズフォールズでは、アメリカの普通の生活を知ることが

できる多くの体験ができました。学校のプログラムでは、グレンズフォールズ市内の博物館や市役所や紙工場を見学したり、大学の施設内を見学したり、大学の学生の人たちと交流したりして、とても楽しかったです。特に印象的だった日米の違いは、日曜日の朝に教会に行く習慣があることです。また、アメリカには診療所が多く、大きな病院が少ないということも知ることができました。また、ホームステイ先のお父さんにサラトガの歴史資料館に連れて行ってもらい、

ここで大きな戦いがあったのかと思うと、とても歴史を実感できました。ここはとても興味



ここはとても興味

まなんど 学人

Students of Nishikyushu University

— "どん欲に学ぶ、西九大生の姿をお伝えします。—

タイ国立プラパー大学との国際交流活動に参加して



平成22年度卒業
松永 裕介(長崎県立口加高校出身)

私は、平成22年8月30日、9月4日の間、西九州大学が実施しているタイ王国の国立プラパー大学との国際交流活動に参加しました。

1、日本語学科学生との交流

今回の活動では、日本語学科の学生に対し、私たちが講義で学んだ「レクリエーション」や「日本の若者事情」についての発表を行いました。

日本語が得意な学生もいて、会話だけでは私たちとタイの学生との距離を縮めることは大変難しいと思います。言葉が多量に必要としないレクリエーションや絵をつかったゲームを行い、言葉がうまく通じない学生ともコミュニケーションを図ることができました。また、顔の表情や身体をつかったジェスチャーもコミュニケーションをとるのに大変役立ちました。その後、日本語学科が歓迎会を行ってくれ、タイ料理を食べながらタイの学生生活についての話や、趣味やスポーツの

話、お互いのニックネームをつけあって、仲を深めあつていくことができました。他にも、一緒に日本語の宿題を解いたり、タイ語を教えてもらったりと、とても良い経験となりました(写真①)。

2、障害者施設の見学

プラパー大学の近隣にある国立の障害者施設の見学をしました。今回、私たちが見学した障害者施設は、タイ国内から様々な理由により保護された18歳以上の女性専用の施設となっていました。この施設には介護を必要とする人から軽度の人まで約400人が入所していました。しかし、施設内の全スタッフ数は54人(そのうち介護者は24人)と、スタッフ1人あたり約50人の入所者の支援を行っているのが現状です。

た。また、医者や看護師が常時勤務していないという問題も抱えていました。

さらに、入所者の生活に関して、「プライベートな空間が少なく、50人が一つの棟で生活していました(写真②)」。その理由は、介護者にかかる負担を減少させるため、また侵入者によるレイプなどの性的犯罪を防ぐためだそうです。また運営面では、国からの予算が少なく、寄付や収益事業で得られる収入がとても大切だとのことでした。

この障害者施設の見学を通して、タイの福祉施設の現状について知ることができました。

た。しかし、私は入所者の方々と直接話すことはできず、「入所者の方々が施設での生活をどのように感じているのか?」など、まだ知らないことの多さを実感しました。

3、大学付属病院の見学

大学付属病院では、タイの医療制度や大学付属病院の機能についての説明を受け、大学付属病院の各施設の見学を行いました。院内見学では、ICU室など普段入ることのできない施設やリハビリテーション室や病室で過ごす患者の様子など観察することができました。病院の設備は日本とあまり変わりはなく、日本製の機材が多く見受けられました。また、タイの病院ではタイ式マッサージも治療の一つとして行っており、私たちも特別にタイ式マッサージを受けることができ、とても貴重な体験ができました。

4、活動を終えて

国際交流活動を終え、私は日本やタイの福祉制度や医療制度について私自身知らないことが多く、反省すべき点もありました。しかし、多くの人と出会い、経験し、考え、

学ぶことができたと思います。今回の国際交流活動では、得たものはとても大きく、外国でのレクリエーションや発表を経験し、言葉が通じなくても、ジェスチャーや顔の表情でお互いの気持ちを伝え、コミュニケーションを図ることができるといふこと、実際に経験し感じることで、とても自信となりました。また、異なった文化に触れ、自身の視野が広がったと感じています。また何より、外国に連絡を取り合う友達ができたことが、とても嬉しかったです。今回の経験が、社会人となってからも活かせると思います。そして、皆さんもたくさんの方へチャレンジしてみてください。



写真① 歓迎会での一コマ



写真② 障害者施設での入所者の生活の様子